一問一答方式による一般質問

矢野目臨空工業団地内の軽油流出事故

田村　宏

問　元市長井口経明のいろいろなからくりや、不始末があるのではないか。流出した燃料タンクの容量はいくらだったのか。

経営企画課長　裁判資料では、100リットルと記載されています。

問　100リットルの処理に4100万円の積算、どのようなトリックを使えばそういう数字がはじき出されるのか、そのような数字は合点がいかない。実際支払ったのはいくらか。

経営企画課長　和解額5400万円になります。

軽油処理費が巨額で残念

問　元市長井口の責任について、市長はどのように考えるのか。そして、各方面で講演に呼ばれ、自分の手柄話と自慢話をとうとうとやっているらしいが、誰もできないような100リットルの油の処理に5、6000万円の巨費を投じた。誰もできない、実績を自慢話に加えた方がいいのではないかと。井口と交流のある方は一つそのようなアドバイスをしてもらいたい。そんなばかな話はない。100リットルですよ。100リットル。岩沼市の土木関係、下水上水の方たちにはそのような処理の方法の知恵は持ち合わせていなかったのか。甚だ私は残念でならない。

今後岩沼市としてこの弁護士を処遇するか。この弁護士の処遇と、それから元市長井口の責任について伺う。

市長　市のさまざまな係争において弁護をしていただき、実績もあると思います。今後の成り行きはその都度判断をしていきます。

相手方は岩沼市に責任があるということで裁判をしてきました。油を除去する責任としては、まず施設の設置管理者である岩沼市にあるという裁判所の心証です。一審で勝訴し、二審では残念ながら負けてしまいました。我々の主張が認められなかったということで、非常に残念に思います。

朝日山公園荒井ため池の見通し

須藤　功

問　以前の一般質問で国に補助金を申請し、ゲートを設置する考えを聞いた。コロナ禍で国からの補助金の見通しはどうなっているのか。

建設部長　ご指摘のゲート設置を国に要望する答弁は、水質改善の方法、効果などをさらに検証すべきとの判断があり、現在は仮設設備による降雨前の事前落水を実施し、雨水による水質浄化の調査を行っています。当面は調査を継続していきたいという考えで、公費活用は考えていません。

雨水排水被害を食い止め

問　雨水排水被害を少しでも食い止めるならコストは関係ありません。市民のことをどう考えているのか。コスト、コストで、水害の被害を住民にかぶせて、平気な顔をしているということ自体が問題ではないか。

市長　今までずっと問題があったところを、一つ一つ、改めて指摘をされたという思いでいます。私も、朝から晩まで大勢の人がいる中の一人ですので、内容はよく熟知しているつもりです。基本的には、水質をいかに改善するかということです。汚泥を撤去することになるわけですが、生半可な量じゃないわけです。今やらないから将来やらない発想ではないです。できるだけ改善していきたいと思っています。

問　市長は積極的にやると言うが、任期は来年6月までである。新しい市長になったら、今の話は通じなくなる。市長だけやりたくても執行部はやりたくない、これでは駄目ではないか。そこはしっかり市長が考えて、任期中に何を大事にするか道筋を考えてくれなければいけないと思うがどうか。

市長　今お話ししたことは記録に残り、職員の中にも意識として残っているので、これで聞いて終わりだという話にはなりません。

◎その他の一般質問

・市民バス中条バス停

・浦條名取線の道路改修